

市民タイムス

平成26年(2014年)6月17日 火曜日

育てた花のプランターを飾って通学路を彩る生徒



通学路 花で明るく

都市大塩尻 生徒が活躍

東京都市大学塩尻高校(塩尻市広丘高)は本年度、通学路沿いに花を飾り、身近な地域の環境美化に取り組み。16日に初めての活動を行い、生徒会役員や有志の生徒40人が、JR塩尻駅に近いききょう公園前の市道沿い約40段にわたって、花のプランターを並べたり、花の苗を植えたりして、街中を鮮やかに彩った。

生徒たちがクラスごとに手入れをしてマリーゴールドやペチュニアなどを咲かせたプランター22鉢を市道東側に並べた。西側には市から提供されたキキョウの苗などを歩道上の花壇に植えた。生徒会長の3年・渡辺芳生君(17)は「花で身近な場所を明るくしたい。少しでも地域に貢献できれば」と意気込んでいた。

地元の大門7区の有賀則正区長、中村順一副区長も生徒らの活動を見守り、有賀区長は「とてもありがたい。活動をきっかけに街に親しんでもらい、地域住民との交流も生まれれば」と期待した。生徒たちは今後、水やりや花の植え換えもして、通年で通学路沿いを彩る計画だ。

同校は長年、地域の環境美化活動に熱心に取り組んでいる。昨年度には市の「クリーン塩尻パートナー」となり、学校周辺の環境整備を担い、近くの田川沿いのシバザクラ植栽や清掃奉仕も続けている。

(荘 隆子)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会